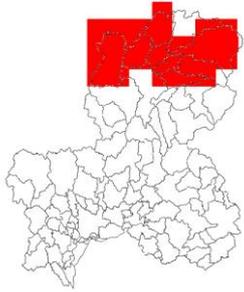


ミツガシワ	<i>Menyanthes trifoliata</i> L.	絶滅危惧Ⅱ類
		ミツガシワ科
選定理由	生育地に限られており、個体数も少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	太い根茎が横に這い、枝の先に上方に伸びる葉を出す。葉は3出複葉、葉柄は長さ20-60cm、小葉は卵状から菱状の楕円形、長さ4-8cm、幅2-5cm。花茎は高さ20-40cm、先に総状花序を形成する。花冠は白色、漏斗形で上半分は5裂し、内面に長毛がある。雄蕊は5本。	
生態的特徴	湿地や浅い沼に生育する。花期は6-8月。	
分布状況	北半球の冷温帯に分布し、日本では北海道、本州、及び九州北部にある。岐阜県では県北の北部に見られる。	
減少要因	湿地の開発などによる生育地の破壊が考えられる。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘